

# ZOOしずおか

ロッキーです。  
よろしくね!!

ホッキョクグマ来園しました。

★ホッキョクグマ「ロッキー」特集

動物園ニュース

できぶらし通信

秋の写生大会

うちの子紹介キリン&レッサーパンダ

協会だより

NZGV/友の会だより/編集後記

あしたはどうぶつえん!!

# ★夜の動物園今年も盛況でした★

今年も夜の動物園を行いました。悪天候にもかかわらず大勢のお客様にご来園いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。



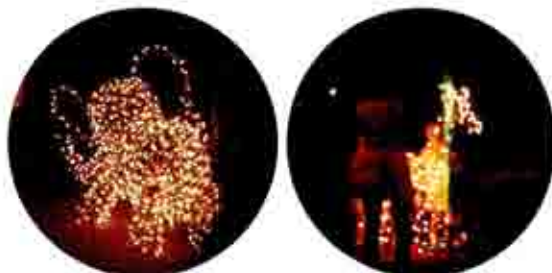
動物園入り口の風景です。昼間と違いとても幻想的な風景です。



山頂の夜景もとてもきれいでした。



夜間開園が始まると同時にお客様の列ができてしまいました。



職員手作りのゾウ&キリンさんのオブジェです。



フラミンゴもライトアップされました。

## 目次

- ホッキョクグマ 「ロッキー」特集 ..... 1
- 動物園ニュース ..... 2~4
  - 動物達と園内のできごと
  - 生まれた主な動物・亡くなってしまった主な動物
  - 来園・出園した動物達
- できぶらし通信 ..... 5
- 平成20年度 秋の写生大会 ..... 6
- うちの子紹介 ..... 7~9
  - マサイキリン&レッサーパンダ(人工保育編)
- 動物園協会だより ..... 10~11
- N・Z・G・V
  - 友の会だより・編集後記 ..... 12

### 表紙の写真

ホッキョクグマの「ロッキー(♂)」です。ロシアからやってきました。まだやんちゃ盛りの1歳です。



# ホッキョクグマがやってきた

2008年7月9日  
「ホッキョクグマがやってきた」  
静岡市動物園



オーライ  
オーライ

慎重に  
慎重に...

静岡市民のみんなが待ち望んだホッキョクグマのこども（オス）が、ロシアのレニングラード動物園から2008年7月9日の夜に来園しました。心配していた長旅の疲れの影響もさほど見られず、すぐに新しい環境に慣れてくれました。来園したときは、体長が約100cm、体重は約55kgでしたが、今では体長が約130cm、体重は約150kgまで成長しました。ロシアという寒い国から来て、静岡の夏の暑さに順応できるかどうかとても心配でしたが、その暑さもどこ吹く風といった感じで、初めての夏を何とか乗り越えてくれました。名前は、公募により「ロッキー」と決まり、今では動物園のアイドル的存在となっています。毎日、よく食べ・よく遊び・よく寝て、元気にすくすくと成長しています。



秋に公開予定でしたが、早く環境に慣れたため8月14日に公開することができ、夏休みには多くのちびっ子たちが会いに来てくれました。



職員一同、首をながくして待ち望んでいました。動物園に到着したのは、夜の11時過ぎでした。

暖か  
迎  
り  
に  
あ  
ら  
ま  
さ  
す



ドキ  
ドキ



初めてみんなの前には  
アライアライと吠えました！



暑熱の閉ざされた部屋に  
左向きで寝る姿が、  
人間が寝る姿とよく似ていて  
「アライアライ」を繰り返して



どいどい大きくなるまいます



ZZZ...

「あれがロッキー？」



ジュー



フィル  
フィル  
フィル

ホッキョクグマの動物園  
おめでとう〜！！



さあ、おいでへ  
大丈夫だよ〜

ホッキョクグマの  
名前は「ロッキー」だよ。  
ヨロシクね！！

約9,100通を超える名前の応募の中から「ロッキー」に決まりました。命名式では、市内の森さんファミリーが代表して発表してくれました。名前の由来は、ロシアの「ロ」としずおかの「シ」とってつけたそうです。



ひなたほろこで  
ウトウト



うーん♡  
おもしろいね



ヨイショ  
ヨイショ

この中では「うーん」が最多



工事用のコーンか  
クッキーのコーンか  
あんなに可愛



## 動物達と園内のできごと

7月9日 ホッキョクグマ、ロシアのレニングラード動物園から来園。

20日 セタイイベントとして「願い事叶えます」を実施。ヘビ、ハイソウ、ゾウ、マレーバクとのふれあい、ライオン、アシガ、ペンギンの餌やり体験を行い、12名の子供達の願い事が叶えられた。

29日～サマースクール実施。  
(7月29日～8月1日・5～8日)

8月1日 開園記念日39周年

7日 ホッキョクグマの一般公開を予定していたが、早朝に左前肢を負傷し歩行不安定のため、だいじをとって一般公開中止とする。治療後、14日に一般公開。



30日 第1回目の夜の動物園。小雨が降る中、多くの来園者で賑わう。第2回目は9月15日、第3回目は9月27日。「動物にも夜景にもうっとりしちゃってください」をテーマに展望広場で夜景を見ながらのコンサートも好評。

9月15日 チリーフラミンゴが産卵する。メスが抱卵しており、ペアのオスがすぐ近くでずっと付き添っている。チリーフラミンゴの産卵は19年ぶり。抱卵をやめたため孵卵器に收容するが、産卵30日目に孵化しかけて死亡する。

21日 20日からの動物愛護週間を際し、動物慰霊祭を行う。朝から小雨がぱらつくあいにくの天候の為、入口広場の屋根下に仮の慰霊塔を設置し行われる。



23日 長寿表彰式を行う。開園以来の長寿鳥のいるフラミンゴを表彰する。



28日 7月12日生まれのマサイキリンの子の命名式を行う。応募総数1325通の中から、「リキ」と命名。



10月6日 シロサイ メス (サイコ) 経過ぎに放飼場のステンレスパイプの欄に頭部と角が挟まり、一時パニック状態になる。幸いパイプがくの字に曲がり外れた。

26日 ホッキョクグマの命名式を行う。名前募集した結果、9149通の応募の中から「ロッキー」と命名。11月3日の測量の日にちなみ、ゾウの体重測定実施。ダンボ3438kg、シャンティ3528kg



15日 レッサーパンダ命名式。名前は「クウ」と命名。



29日 ロッキー誕生会。水のケーキ、ワラサ、牛肉、果物などたくさんのプレゼントを頂く。約200名にお祝いしてもらい、おなかいっぱい大満足のロッキー。



12月6日 ニシキヘビ 顔を与える前に仕切りの板を差し込むと、勘違いしてメグがミナミに飛びつき嘴んで巻きついてしまう。水の中に入ったので、顔を水の中に入れて2顔を離す。

7日 ホッキョクグマ (ロッキー) 体重測定実施。おやつにつられて、体重計の箱に乗りこむ。148kg。



## 生まれた主な動物達

- 6月 1日 ショウジョウトキ  
 6月 5日 カルガモ  
 フライングケージの9羽のキューちゃん  
 は仲良し兄弟。いつも一緒に行動し、  
 飼育員が池の掃除をしていると近づい  
 てホースからの水浴びを楽しんだりし  
 ています。
- 6月11日 コモンマーモセット  
 2頭の兄弟のお父さんは、育ての親で  
 す。現在は2代目育てのお父さんです。
- 7月 3日 レッサーパンダ メス (クウ)  
 7月12日 マサイキリン オス (リキ)  
 7月20日 ブラッサグエノン 不明 (ボッケ)  
 10月17日 ヤギ オス (ハチ)



ショウジョウトキ  
 フライングケージの  
 朱色の鮮やかな鳥で  
 す。今年は7羽が元  
 気に育っています。  
 子はまだ体の色が黒  
 く、少しずつ朱色が  
 出てきています。



ブラッサグエノン  
 (ボッケ)  
 お母さんのおなか  
 にしっかりとしがみ  
 つき、すくすく成長  
 中。お母さんから離  
 れようとすると、お  
 母さんがボッケのし  
 っぽを引っ張り呼び  
 戻すことも。



レッサーパンダ  
 (クウ)



マサイキリン  
 (リキ)



ヤギ (ハチ)  
 お母さんのハチにそ  
 っくりな黒い体のハ  
 チ。最近子供動物  
 園内の探検を楽しん  
 でいます。「ヤギが逃  
 げていますよ」と慌  
 てて知らせてくれる  
 お客さんも。疲れた  
 ら自分で仲間の所へ  
 戻りひなたぼっこを  
 しながら眠る姿もと  
 てかわいいです。

## 亡くなってしまった主な動物達

- |        |               |         |         |      |     |      |
|--------|---------------|---------|---------|------|-----|------|
| 6月25日  | ニシムラサキエポシドリ   | メス      | 腸炎      | 飼育年数 | 2年  | 7ヶ月  |
| 7月 3日  | バーバリーシープ      | メス      | 腹膜炎     | 飼育年数 | 14年 | 2ヶ月  |
| 8月 6日  | ワタボウシタマリン     | オス      | 腸炎      | 飼育年数 | 13年 | 4ヶ月  |
| 9月 4日  | シロガオサキ        | メス      | 老衰      | 飼育年数 | 17年 | 11ヶ月 |
| 9月24日  | コモンマーモセット     | オス      | 肝炎      | 飼育年数 | 4年  | 7ヶ月  |
| 10月17日 | モモイロペリカン      | メス (カン) | 出血性ショック | 飼育年数 | 13年 | 3ヶ月  |
| 11月17日 | ジーベンロックナガクビガメ | オス      | 老衰      | 飼育年数 | 17年 | 8ヶ月  |



シロガオサキ  
 老齢のためオスとペアで引退し、室内で  
 静かに暮らしていました。3月には高齢  
 出産。子育ても上手なお母さんでしたが、  
 突然死しました。残された子供とお父さ  
 さん。「どうしたものか・・・」という顔をし  
 ながらも子供を抱きよせ、優しくお母さ  
 ん代わりをしてくれています。



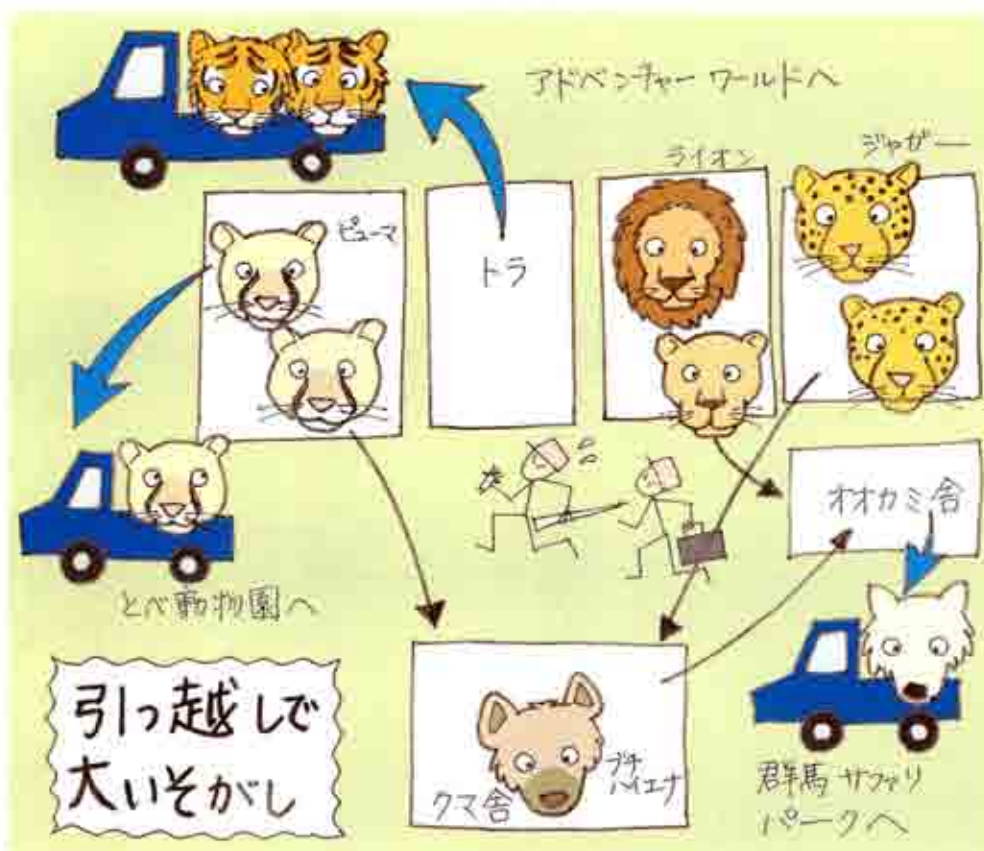
モモイロペリカン  
 (カン)

## 来園した動物達

- |   |            |           |              |
|---|------------|-----------|--------------|
| 7月 9日   | ホッキョクグマ    | オス (ロッキー) | レニングラード動物園より |
| 11月 4日  | コモンマーモセット  | オス        | 甲府市遊亀公園より    |
| 来園早々、2頭の子供のお父さんとして家族に仲間入りしました。同居初日の夕方には、4頭そろって巣箱に入っていました。 |            |           |              |
| 12月 6日  | ビグミーマーモセット | オス        | 草津熱帯園より      |

## 出園した動物達

- |        |            |               |              |
|--------|------------|---------------|--------------|
| 6月11日  | エリマキキツネザル  | オス            | 宇都宮動物園へ      |
| 6月19日  | ピューマ       | メス (マリー)      | とべ動物園へ       |
| 6月30日  | アムールトラ     | オス・メス (トシ・ナナ) | アドベンチャーワールドへ |
| 8月18日  | ニホンカモシカ    | オス (ナット)      | 富山市ファミリーパークへ |
| 12月 6日 | シロガオマーモセット | オス・メス         | 草津熱帯園へ       |
| 12月 9日 | ショウジョウトキ   | オス2羽・メス2羽     | 江戸川区自然動物園へ   |



アムールトラ  
6～7月は新猛獣館建設のため、猛獣達が獣舎の移動や出園で大忙しでした。トシとナナは新猛獣館が完成するまでの間、預かってもらっています。

【新しい仲間たち】

空き部屋になっていたホッキョクグマのピンキーがいた獣舎に、愛らしいホッキョクグマの子供（オス、8ヶ月）がやってきました。この仔は、7月9日にロシアのサンクトペテルブルグ市にあるレニングラード動物園から13時間もの長旅を経て、ロシア人の飼育員2人と共にきました。双子の兄弟だったのですが、1頭は、ロシア国内の別の動物園へ行きました。日本平動物園への到着は、夜の11時半くらいだったのですが、飛行機の中でも同行してくれたロシアの飼育員が頻りに飲み水をあげたりして面倒を見てくれていたので、ケージから寝室へ移ると元気よく歩き回っていました。長旅でぐったりしているのではないかと、心配していましたが元気な姿を見て立ち会っていた全員がホッとしました。この仔は、水が大好きでよくプールで泳いだり、浮きや三角コーンのおもちゃでよく遊んでいます。また、大好きな肉や魚をお腹いっぱい食べ終わるとすぐにその場で寝込んでしまいます。ほんとに子供ですね。日本平動物園のホームページ等で映像も公開されますので、ぜひご覧になってください。国際血統登録名は、ロシアのピョートル大帝から名付けられた「ピョートル」ですが、動物園での愛称は皆さんから募集しますのでぜひ応募してください。

ホッキョクグマは、ユーラシア大陸とアメリカ大陸の北極圏にすんでおり、地上で暮らす肉食動物の中では最大で、野生での寿命は、25～30年とされています。野生での大人のオスの体長は、およそ3m、体重はおよそ400kg～600kgです。ピョートルの父親は非常に大きな体で、体重が700kg以上もあるようです。きっと、ピョートルも大きく育ってくれるでしょう。でも、赤ちゃんの時はとても小さく、生まれた時の体重はおよそ600g～700gです。ピョートルがまだ巣穴にいる時の赤ちゃんの映像は、動物園のホームページで公開されています。

体重の約30%を脂肪で包まれていて、厚い皮下脂肪があるため、体温が奪われずに寒い北極の氷の海でも生活できますが、逆に蒸し暑いのは大の苦手です。ピョートルが、初めての蒸し暑い日本の夏に早く慣れたいことを願います。



また、7月12日、待望のマサイキリンの赤ちゃんが誕生しました。性別はオスで、身長184cm、体重70kgの元気な赤ちゃんです。当日の朝、破水があり、午後1時33分に無事出産しました。一番心配していたのが、その後自分でしっかり立てるかだったのですが、飼育担当者たちが見守る中、約1時間で無事立ってくれました。やれやれとホッとしたのも束の間、今度は母親のリンが子供を蹴り倒してしまいました。このままでは、子供が蹴り殺されてしまうため、母親から離しやむなく人工保育に切り替えました。今は、母親代わりに飼育員さんが牛の初乳を毎日飲ませてあげています。マサイキリンは、国内でも飼育している動物園が少なく、非常に希少な子供なので、元気に育てほしいと願っています。

\*ピョートルは現在、公募により「ロッキー」と名づけられました。たくさんのご応募ありがとうございました。



# 20年度秋の写生大会 入賞者

賞	学校	学年	氏名
静岡市長賞	富士宮市立東小学校	3	石田 光
静岡市議会議長賞	静岡大学教育学部付属静岡小学校	1	加畑 佑基
静岡市教育長賞	清水折戸保育園	年長	宮城嶋 開人
(社)静岡県動物保護協会会長賞	焼津市立大富小学校	4	内村 友哉
(財)静岡市動物園協会賞	静岡学園中学校	2	齋藤 由衣
静岡新聞社・静岡放送賞	清水入江保育園	年中	浦山 綾斗
静岡新聞社・静岡放送賞	こどもの園幼稚園	年長	中川 大夢
静岡新聞社・静岡放送賞	静岡市立清水有度第二小学校	1	片川 翠弓
静岡新聞社・静岡放送賞	静岡大学教育学部付属静岡小学校	3	井口 風温
テレビ静岡賞	清水保育園	年少	杉浦 佳乙瑛
テレビ静岡賞	かわはらいずみ幼稚園	年中	加茂川 皓己
テレビ静岡賞	静岡市立千代田東小学校	1	古谷 萌果
テレビ静岡賞	焼津市立豊田小学校	3	山中 みのり
静岡第一テレビ賞	みなみ幼稚園	年少	古森 唯楽
静岡第一テレビ賞	島田市立第一保育園	年長	石神 諒人
静岡第一テレビ賞	登呂保育園	年長	平井 想士
静岡第一テレビ賞	ふじみ野市立上野台小学校	1	中川 千聖
静岡朝日テレビ賞	沼上保育園	年中	古谷 日和
静岡朝日テレビ賞	藤枝順心付属幼稚園	年長	渡邊 咲希
静岡朝日テレビ賞	富士宮東幼稚園	年長	石田 健祐
静岡朝日テレビ賞	静岡市立清水岡小学校	2	田中 大勢
金賞	焼津幼稚園	年中	竹内 美姫
金賞	焼津豊田幼稚園	年中	小池 七和
金賞	焼津南保育園	年長	中野 優
銀賞	焼津幼稚園	年中	仁藤 千智
銀賞	静岡市立清水入江小学校	2	松澤 里奈
銀賞	静岡学園中学校	2	海老岡 重穂
銅賞	富士市立富士中央小学校	4	黒川 諒登
銅賞	静岡市立城北小学校	4	吉川 さくら
銅賞	静岡学園中学校	1	石川 絵理
ホッキョクグマ賞		幼児	芝田 美妃
ホッキョクグマ賞	富士宮市立西ヶ丘幼稚園	年長	市川 愛海
ホッキョクグマ賞	藤枝市立藤枝小学校	1	岡村 和
ホッキョクグマ賞	静岡市立中田小学校	2	築山 友姫
ホッキョクグマ賞	静岡市立長田南小学校	5	岡田 竜磨



# マサイキリンのリキ元気に成育中

父親（トッポ）1996年7月6日アメリカカンサス州生まれ。母親（リン）2000年6月16日熊本市動物園生まれの両親から平成19年1月に当園では21年ぶりに出産しましたが、未熟児のため2日目に死亡して、今回は2回目の出産で平成20年7月12日に無事に生まれ元気に成育中です。



娠期間469日目に3時間20分かけて出産されました。



リンは出産後一時は子供を舐める行動は見られましたが急に子供を蹴る行動が見られ、危ないので子供を離しました。



生後2日目、頭の角は袋だけで、まだたおれています。2週間くらいすると角らしくなります。



最初は人間用の哺乳瓶で与えましたが飲む量が増えてきたのでペットボトルの哺乳瓶で与えています。（子牛用ミルクを使用）



生後3週間、時々外に出てくるようになりました。



名前の公募をして9月28日に「リキ」と命名されました。



放飼場を走り回る姿も見られます。



親子3頭が放飼場にいるとほほえましいですね。



生後4ヶ月になり餌もかなり食べるようになりましたので哺乳回数も1日1回2ℓとなりました。（指は4ヶ月を示す）



リンが時々リキの体に触れたりすると逃げて部屋に入ってしまう。しかし、リキは自分からリン・トッポの体にもたれかかることもあります。

# レッサーパンダの人工保育

鈴木和明・青木光生・松下 愛

## 《はじめに》

2008年7月3日午後1時半ころ2頭を出産しました。母親は2000年安佐動物公園生まれのナラ、父親は2001年徳山動物園生まれのシュウシュウです。

1頭目は巣箱に出産し、子供が大きな声で啼いているので母親が面倒を見ているものと判断したのですが、2頭目は巣箱の外に出産しました。羊膜をかぶったまま放置してしまい母親が全く面倒を見る気配がなかったので仕方なく取り上げ人工保育に切り替えました。巣箱に産み落とした子供は翌日母親による咬傷がもとで死亡していました。



取り上げたばかりの子供。  
出生時の体重は175g 体長18cm。  
尾長6.5cmのメスでした。



保育器の中



1cc用のシリンジで哺乳

## 《人工保育》

前回(2006年)、2頭出産したうち1頭(シュウナ)は母親が育て、1頭は人工保育に切り替えた結果、1週間目に誤嚥性肺炎で死亡させてしまいました。その失敗から今回は3名でチームを組み子供の様子を注意深く観察しながら保育を進めました。

・ミルク・・・パンダミルク

・哺乳回数と時間

生後1日目～1ヵ月、5回

(6:00・10:00・14:00・18:00・22:00)

1ヵ月～2ヵ月、4回

(7:00・11:00・15:00・19:00)

2ヵ月～3ヵ月、3回

(8:30・12:00・17:00)

3ヵ月～ 2回

(8:30・17:00)

・哺乳器具

1日目～7日目(1cc用シリンジ)

生後2ヵ月まで哺乳瓶ではなくシリンジで行う。



## 《体重と哺乳量》

体重の推移と哺乳量の推移です。体重は生後4日目まで減少しその後順調に増加してきました。幸い下痢や病気等もありませんでした。

太りすぎが最も危険なため、ミルクの量には特に注意し、はじめは体重の20%でしたがその後15%に落とし、1ヶ月半からは12%と決め、子供がどれほどほしがっても上限の量はしっかり守りました。

## 《成長記録》

1日目	産。母親ナラが音を異音に運んでいる。1日目、1時10分に巣箱から大きな鳴き声が聞こえる。2日目の出産、1時34分巣箱の外で産む。1時間ほど様子を見るがナラは何の動も示さないので人工保育に切り替える。時間6:00、10:00、14:00、18:00、22:00の1日6回。ミルク…パンダ用ミルク、22:00…0.2cc与える。
2日目	元気良好、よく動く、吸う力もついてきた。
4日目	排便刺激するが出ない。
8日目	やっと糞が出る。(丸3日ぶり)
9日目	目の後ろこげ茶になる。顔の模様がハッキリしてくる。前後肢の色が黒っぽくなってきた。
20日目	手足の裏の毛が生えてきている。
24日目	前より四肢で前進する力強くなってきた。頭部は支えられるようになってきた。
25日目	右目が少し開きかけている。
30日目	尻尾にもガシマシマ模様になってきた。
37日目	口の中前の犬歯あたりがこつこつしてきた。
45日目	後肢のカエル足が臭になる。顔の模様がパンダらしくなってきた。
53日目	時々後ろ足を腰を持ち上げる。
56日目	歩くが後ろ足はまだ広がっている。下あごの歯も生えてきている。
63日目	後肢の状態変わらず、運動させながら介添えして歩かせる。
66日目	ジャンプするようになってきた。
67日目	笹を口に入れ食べる。笹でよく遊ぶ。
68日目	後ろ足に力が入ってきている。腰を浮かせて歩くようになってきた。
73日目	散歩に出すと走るようになってきた。
76日目	背中中央が赤茶色の毛になってきた。顔の毛も多くなってきた。
81日目	排便が出る。ギャロップで走る。後ろ足だけで立ち上がる。
85日目	ミルクをバットで与える。
91日目	バナナ食べる。
93日目	リンゴをすりおろしてミルクに混ぜて与える。
95日目	散歩すると走ってついてくる。
97日目	リンゴのスティックも与える。犬歯5ミリほどの長さになる。



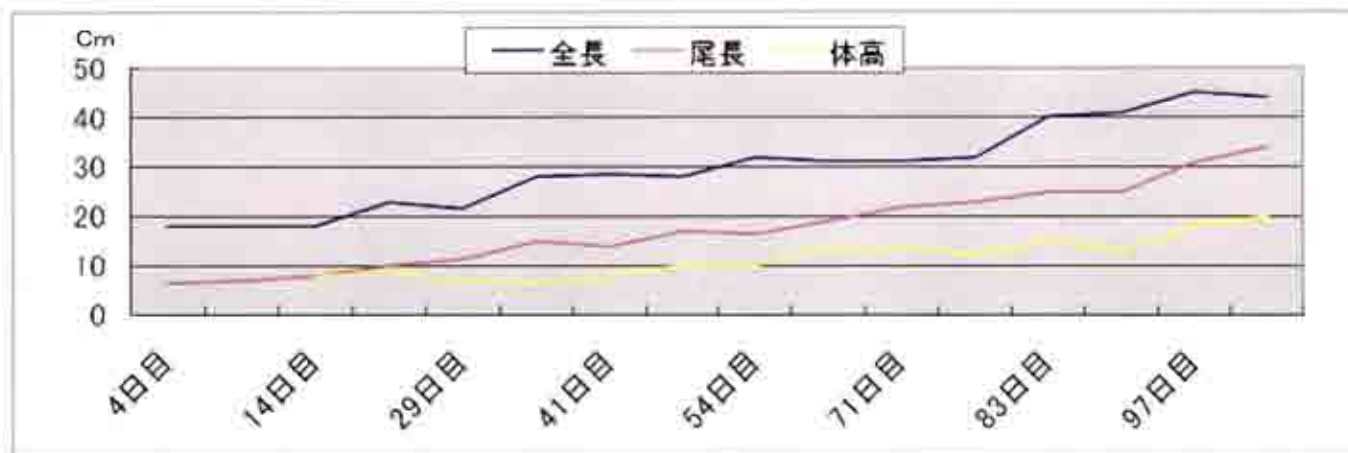
1ヶ月目



2ヶ月目



4ヶ月目



### 《終わりに》

現在生後4ヶ月になり、体重も2kgを超えて体長も44cmとかなり大きくなってきました。離乳も無事にできて、行動も運動場の木に登り降りもできるようになり、順調に成長をしてきました。しかし、まだ親との同居ができていません。まだまだかなり人間への依存度が高くレッサーパンダとしての自立を促していく課題が残っています。それでもここまで順調な生育が見られたのは、多くの皆様の協力と助言があったからです。特に生後2ヶ月になろうとする頃、後ろ脚が開きカエル足になって心配しましたが、それまで乾草を敷き詰めていた床材を人工芝に変え、運動もさせるように試みたところ、後ろ脚が元に戻り、腰が持ち上がるようになってきました。さらに、今回の人工保育に貴重な時間を割いてチームに加わってくれた青木さん、松下さんの協力も大きな要因と感謝しています。今後の課題は、8歳のナラと7歳のシュウシュウが繁殖に供する時間が少なくなってきたことです。ナラは今までに「風太」と「シュウナ」を立派に育て上げています。ぜひ来年は落ち着いた環境でナラに子育てをしてもらいたいと考えています。



# めざせ!

「めざせ!動物園博士は、静岡市動物園協会と日本平動物園ガイドボランティアが連携した“動物園ファンによる動物園ファンのための企画”です。

平成20年9月21日(日)には、第1回専門コース「もっと知りたい日本平ZOO」を開催。すでに入門コースを修了していた10組25人の皆さまにご参加いただきました。なかなか

難しい問題も多かったのですが、参加した皆さまのレベルが高く、全員が修了しました。

また、10月5日(日)には、第2回入門コースを開催し、26組76人の皆さまが修了されました。

入門コースの修了者は、4種類の専門コースに参加することができます。そして、4種類の専門コースを修了すると、静岡市動物園

## 第1回専門コース修了者の皆さま



- |        |        |       |
|--------|--------|-------|
| 山田 忠男  | 谷津 佑梨  | 安本 馨  |
| 竹中 あゆみ | 石神 陽子  | 安本 力  |
| 竹中 柊太  | 石神 穂東  | 安本 了  |
| 山内 千波  | 亀山 幸男  | 森 大輔  |
| 山内 慶亮  | 牧田 裕美子 | 海野 弘幸 |
| 中野 朋香  | 山口 哲弘  | 海野 嵩幸 |
| 中野 幸子  | 山口 翔平  | 海野 和子 |
| 谷津 和美  | 安本 美佐代 |       |
| 谷津 由也  | 安本 吉宏  |       |

# 動物園博士

協会が「動物園博士」に認定いたします。

第2回専門コースは3月22日(日)に実施予定です。入門コースを修了された皆さまには、詳しい内容を記したチラシを直接お送りします。

これから参加してみようという方には、第3回入門コースを3月1日(日)に実施します。(雨天時は15日(日)に延期)。

参加希望の方は、静岡市動物園協会(TEL 054-262-3252)へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

<http://nzgv.web.fc2.com/hakase/>

## 第2回入門コース修了者の皆さま



恒川	明久	青野	晃平	朝原	香	内田	ゆき	島田	美幸	松川	朋美
恒川	典子	青野	千秋	望月	美江子	内田	匠之助	島田	東樹	千葉	育伸
恒川	陸	鈴木	祥太	望月	卯天	内田	光之助	島田	瞳	千葉	通子
恒川	隼	鈴木	雄太	望月	紹杜	寺田	義哉	島田	颯斗	千葉	結
井上	智美	鈴木	照乃	望月	虹日	寺田	昌子	見城	有美	田島	藍
井上	たき	鈴木	繁雄	西澤	伸明	寺田	千紘	見高	宏輔	米澤	愛
千原	慶子	上田	辰一	西澤	志保	寺田	蒼生	高橋	潤子	松山	盛康
千原	渚	上田	結月	西澤	青威	上西	英子	高橋	実里	松山	節子
千原	浩平	上田	結麻	西澤	紅昔	石原	亜依	高橋	依更	林	春翔
橋井	留可	臼井	晴紀	堀井	結加	石原	靖哲	高橋	寿希也	林	愛美
橋井	瑞穂	朝原	莉乃	大長	小夏	高木	良枝	鈴木	瀬奈	杉山	竜也
橋井	琴乃	朝原	利樹	増田	彩華	高木	有紗	鈴木	優		
青野	夏希	朝原	道友	内田	明	野田	耕平	島田			

(受付番付順・敬称略)

# N.Z.G.V

NIHONDAIRA, ZOO, GUIDE, VOLUNTEERS (日本平動物園ガイドボランティア)

NZGV (日本平動物園ガイドボランティア) の活動も、いよいよ今年には10年目を迎えるに至り、益々その活動の内容も充実して参りました。来園の皆様には、大いに楽しんで頂ける動物園にしたいとの思いで、園の職員・飼育担当・協会の皆様とスクラムを組み、是に応じつつ自らも楽しんで参りたいと思います。



モルモットにヒヨコ、ワザビにニシキヘビと「ふれあい班」の活動は沢山のお子様との交流を楽しんで参ります。  
「今年も宜しく」ふれあいスタッフ一丸



小型ザルからダチョウのまでの活動をする(ウキウキ班)は今年からその範囲を拡げレッサーパンダからペンギンまでを加えてゆきます。



園の事務職員杉田さんを中心にボランティアコーディネーターの月例会はさまざまな意見と反省の交換があります。



動物園飼育担当の指導による動物達の生態を学ぶガイド班

## \* 定例活動 \*

**ふれあい班** 土・日・夜  
10:30~12:00  
13:10~15:00

**わくわく班** 毎月第3日曜日  
10:00~15:00

**うきうき班** 毎月第1日曜日  
10:00~15:00

## ツアーガイド班

平日主に学校などの団体にツアーガイドを行っています。又、ハンスオンガイドも好評ですよ。

## 友の会だより

2008年7月~2008年12月

### 7月例会 7月15日(日)

#### ○ポイントガイド「ペンギン」

松下獣医師による猛獣館建設工事が始まったこと、これによる動物たちの引っ越し、ホッキョクグマが無事来園したことなどの話を聞いてペンギン舎へ移動する。水中の動き、魚の食べ方、巣穴での卵の抱き方など飼育担当者の解説があった。

講師：松下獣医師、長谷川飼育員  
(参加者28人)

### 8月例会 8月10日(日)

#### ○ポイントガイド「アシカ」

楽園したホッキョクグマの状態を中心に動物の異動について獣医師から聞いた。アシカ池へ移動し飼育中のカリフォルニアアシカの習性を習った。ここでは、常に新しい水の補給など環境に注意している。そのためか高率で繁殖・子育てに成功しており、次にも期待し長生きを願った。

講師：榎島獣医師(主幹)、長倉飼育員  
(参加者25人)

### 9月例会 9月15日(月祝)

#### ○夜の動物園見学

動物園の夜間開園に合わせて行った。生憎、例会開始時刻午後6時になって雨が降り出す。それでも人気が高くシャトルバスが何回も折り返している。獣医師による園と動物の話、夜の園内見学での注意点を聞いて、一般来園者と同じ人潮、自由見学とした。

講師：松下獣医師 (参加者28人)

### 10月例会 10月12日(日)

#### ○ポイントガイド「オグロワラビー」

動物園の今日のニュースと動物の異動などの話を聞いてオグロワラビー舎の前へ移動する。飼育担当者より説明を聞きながら、その愛らしいしぐさ・姿を観察した。

講師：松下獣医師、佐野飼育員 (参加者20人)

### 11月例会 11月9日(日)

#### ○ポイントガイド「レッサーパンダ」

動物園での出産など異動の話聞いて、子供動物園レッサーパンダ舎まで移動する。今年生まれのレッサーパンダの子、名前はまだない。メスのレッサーパンダで飼育担当者より出産したとき、その後人工保育での苦労話を聞く。

講師：松下獣医師、鈴木飼育員

### 12月例会 12月14日(日)

#### ○テーマ「野鳥観察会」

あいにくの雨となる松下獣医師の動物の異動の話聞いて日本野鳥の会会員でもある渡辺飼育員より日本における野鳥、渡り鳥の話聞く。雨のため上の池での観察を中止し屋内で鳥の習性、渡りの時季など興味深い解説があった。ビデオによる説明に大変参考になった。観察の仕方を知識として得られた。

講師：松下獣医師、渡辺飼育員 (参加者12人)



## ◎ボランティア活動

- ファン感謝デー  
フェイスペインティング  
8月16日(土)、10月13日(祝)  
11月3日(祝) (参加者5人)
- 動物懇話会  
9月21日(日) 会長、副会長出席
- 秋の動物園まつりに  
ZOOフレンドデー  
「キリンサンデー」を実施する。  
10月19日(日) (参加者10人)
- 産業フェアしずおか2008  
「ふれあい動物園」  
11月29日(土) 12月1日(日)  
(参加者7人)



自分が編集長になってからもうすぐ1年になってしまいます。時というものは歳をとるほど早くなるのを実感しています。

好きな言葉は「やきたいもない!!」の編集長 M